

新年明けまして



市長
小畑 元

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、将来の大館市がどうあるべきか議論が重ねられ、いろいろな分野で一定の方向、進むべき道しるべができた年であったと思っています。

農業は、後継者不足が問題となっていますが、農地の集約による中核農家の規模拡大と、立花ファームのような集団農業による共同化を進めることで、この問題を解決できるとしています。

林業では、いよいよ木材加工施設の立ち上げが進められます。木材が売れなければ、山は荒れてしまいます。恵まれた自然を後世に引き継ぐためにも、木材加工施設の整備は不可欠です。

工業は、環境産業と健康産業という二本の柱が確立しました。環境産業では、家電リサイクル、土壌洗浄のみならず、廃プラ廃木活用事業もスタートします。もう一つの柱となる健康産業は、菱山製薬(株)大館工場が本格的に操業を開始し、順調に規模を拡大しています。昨年は100人を超える雇用があり、将来は500人規模の大きな雇用が見込まれています。

商業では、中心市街地活性化基本計画の実現に向け一層努力していきます。中心市街地はいわば大館の顔であり、これをみんなで支えることで「元気のいい大館」にしていきたいと思えます。

また、市立総合病院のリニューアルがいよいよ設計段階に入り、東バイパスや国体関連施設の整備、城西小学校の建て替え工事も着実に進んでいます。一方、中高一貫教育校が大館に開校されることが決定しています。

さて、迎えた本年は昨年までに示された方向性に基づき、その実現に向け力強く踏み出して行く年と考えています。市町村合併も正念場を迎えます。大館の輝かしい未来を築き上げるため、本市の特性を最大限に生かし、だれもが「住みやすく、住み続けたい」と思うようなまちづくりを、市民の皆さんとともに進めていきたいと考えています。